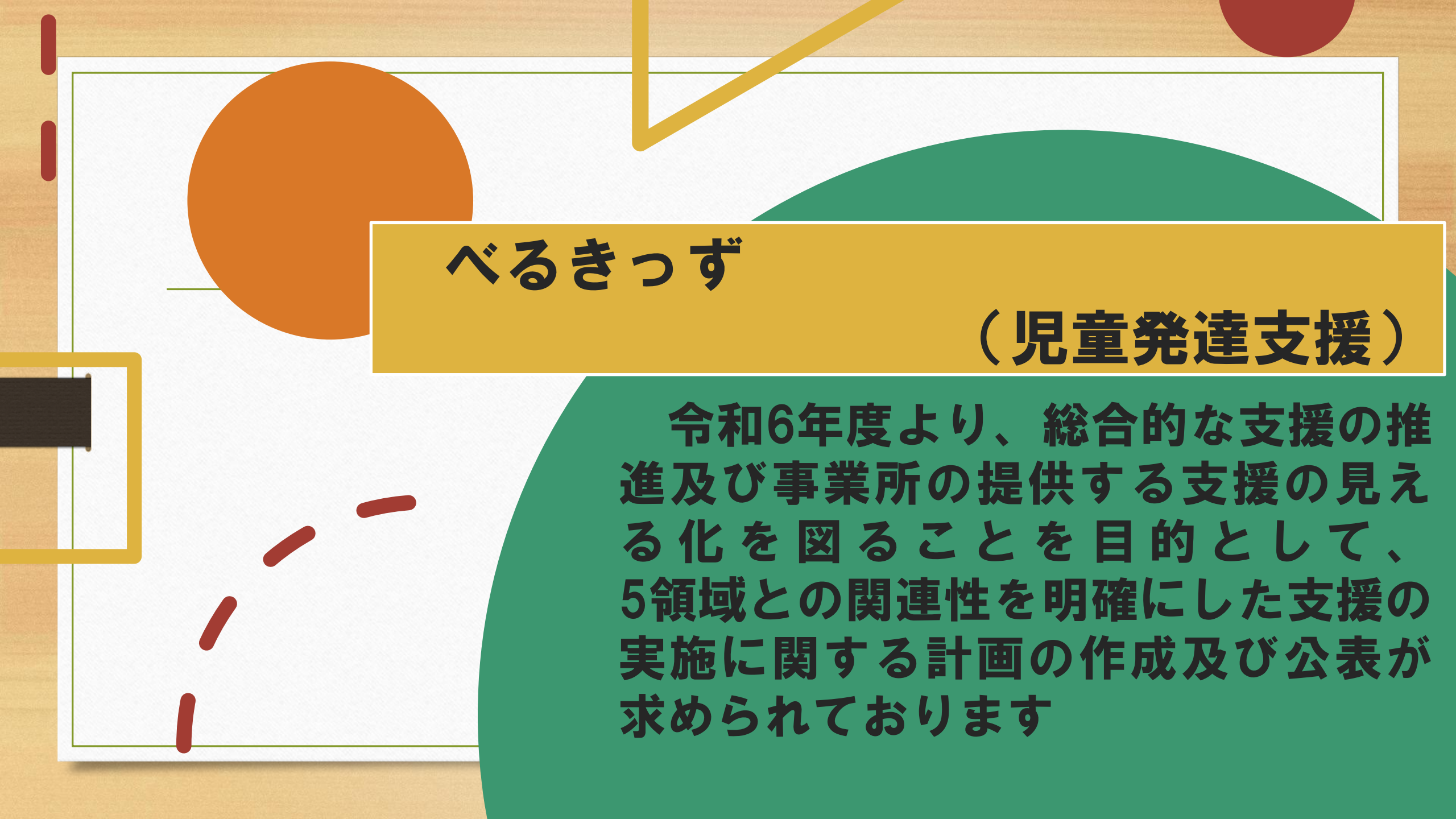




べるきっず

（児童発達支援）

令和6年度より、総合的な支援の推進及び事業所の提供する支援の見える化を図ることを目的として、5領域との関連性を明確にした支援の実施に関する計画の作成及び公表が求められております

基本情報

事業所名

べるきっず

法人理念

利用者と家族一人ひとりに寄り添い、安心して生活を送ることができるように努め、すべての利用者と職員が楽しくやりがいをもって働ける職場環境づくりに努めます。

支援方針

- いいところを見つけ・伝え合い・伸ばしていきます
- 遊びから学びにつなげます
- みんながわくわく・楽しめるような事業所にしていきます

営業時間

平日9時～18時

送迎実施の有無

有

べるきっずでは、発達支援5領域を取り入れたプログラムを作成しています。

健康・生活

本人の様子を観察し、必要に応じて保護者と情報交換を行い、安心安定した生活を送れるようにしていきます。
手洗いや食事前の消毒など自分で行える感染症対策をできるよう促していきます。
自分で遊んだものは片付けをできるように促していきます。

運動・感覚

現時点での発達を維持、向上を目指し、楽しく体を動かせる機会(つかむ・ひっぱる・つまむ・とおす・描く・切るなど)を作っていきます。
季節の製作の中に感触遊びを取り入れるなどして、色々な感触・感覚に触れられる機会を設けます。

認知・行動

絵カードでのやり取りを行ったり、自分の気持ちを表現できるツールを提案していきます。
子ども一人ひとりが自分の気持ちを伝えられるようなきっかけづくりをしていきます。
遊びややり取りを通して、時間概念・色・比較・感情・図形に関する認知を向上できるように促していきます。

言語 コミュニケーション

非言語(身振り・指さし・絵カード)などでやりとりできる術を子ども本人が身に着けることができるような機会を作ります。
行動・感情のコントロールをできるよう、自分の中で伝えたいことを考えることができるように促していきます。

人間関係 社会性

少人数の中で少しずつ集団のスキルが学べるような機会を設けます。
園での生活がより自信をもてるようなプログラムを実施していきます。
少人数の中で、社会的スキルを身に付けていけるようなかわりをしていきます。

家族支援	移行支援	地域支援・地域連携	職員の質の向上
・面談や、SNSツール・連絡帳・電話連絡などで日々のやり取りを行うなどして、家族の不安や心配事を取り除き、一緒にお子様をサポートしていけるという安心感を持ってもらえようとしています。	・お子様の成長を見据え、移行先とスムーズに連携がとれるよう、日々の記録の共有を行える関係性を目指していきます。 ・事業所でお子様が生きてきた行動・技術・自信が、園や生活で発揮できるようなものであるような支援を目指していきます。	・インクルーシブの観点から、地域社会のなかで積極的に活動することができるよう、地域の公園を活用し、集団生活を行っていきます。 ・事業所の中だけでの活動にするのではなく、地域を巻き込んだ支援計画を作成し、取り組んでいきます。	・日々の療育に必要な技術・知識の向上を目指し、毎月様々な研修会を行います。また、その研修で学んだことを活かせるよう日々の療育に落とし込むにはどうすればよいか考え・実践する機会を作ります。 ・日々の療育で困ったことや共有したいことを挙げられるよう話し合いの時間を設け、事業所スタッフが同じ方向で子どもと関わっていける環境を目指します。

主な行事など・季節を感じられる製作・イベントを企画します。

春	夏	秋	冬
お花見 ピクニック 室内工作	七夕 水遊び 大切な人への プレゼントづくり	お月見 ハロウィン 森探検	書初め 節分 ひな祭り

幼稚園や学校での生活や行事にわくわくしつつも、慣れないイベントになんだか気持ちがそわそわ・・・。

べるきっずではのんびり安心して過ごせるよう、ホッとできるような内容を考えています。

行事を頑張っていく！という意識ではなく、あくまでも春夏秋冬を味わってもらうことを大事にイベントを行っていきます。